

KOKUYO

平成27年12月期
第2四半期
〈1～6月〉

連結決算補足資料

平成27年7月24日

コクヨ株式会社

(コード番号 7984)

経営管理本部 財務経理部

お問い合わせ先 : 統括部長 永井 琢也

TEL : 06-6976-1221(大代表)

URL : <http://www.kokuyo.co.jp/>

も く じ

1. 損益計算書の状況	
1-1 連結情報	…… P. 1
1-2 売上高	…… P. 2
1-3 売上総利益	…… P. 3
1-4 販売費及び一般管理費	…… P. 4
1-5 営業利益及び経常利益	…… P. 5
1-6 四半期純利益	…… P. 6
2. 貸借対照表の状況	…… P. 7
3. キャッシュフロー・設備投資の状況	…… P. 8
4. 事業セグメントの損益状況	
4-1 ステーションナリー関連事業	…… P. 9
4-2 ファニチャー関連事業	…… P.10
4-3 通販・小売関連事業	…… P.11
5. 27年12月期の見通し	…… P.12
6. 主なトピックス	…… P.13

(注)この資料に記述されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

1. 損益計算書の状況

◆1-1 連結情報

売上高は、国内でのオフィス家具販売が好調に推移したことに加え、海外事業も伸長したことから、前年同期比3.2%増の1,612億円となりました。

利益面では、増収に伴う売上総利益の増加や固定費の削減等により、営業利益は前年同期比20.1%増の88億円となりました。また、経常利益は前年同期比23.7%増の98億円、四半期純利益は前年同期比51.1%増の60億円となりました。

(単位: 百万円)

	26年12月期 第2四半期	27年12月期 第2四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	156,243	161,249	+5,006	+3.2%
売上総利益 (率)	53,086 (34.0%)	54,907 (34.1%)	+1,821 (+0.1p)	+3.4%
販売費及び一般管理費 (率)	45,689 (29.2%)	46,025 (28.5%)	+336 (△0.7p)	+0.7%
営業利益 (率)	7,396 (4.7%)	8,882 (5.5%)	+1,486 (+0.8p)	+20.1%
経常利益 (率)	7,935 (5.1%)	9,814 (6.1%)	+1,879 (+1.0p)	+23.7%
四半期純利益 (率)	3,995 (2.6%)	6,037 (3.7%)	+2,042 (+1.2p)	+51.1%

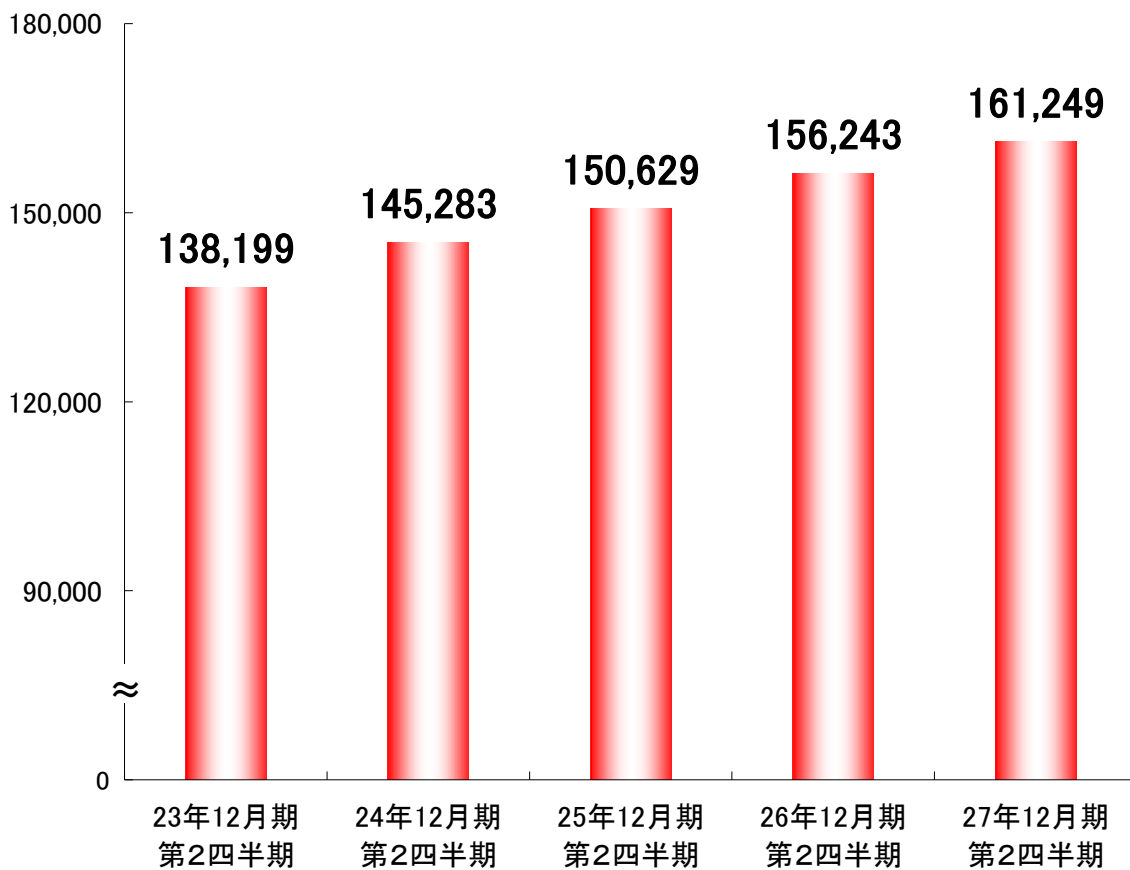
(注) 連結子会社22社・持分法適用関連会社1社

1. 損益計算書の状況

◆1-2 売上高

売上高は、国内でのオフィス家具販売が好調に推移したことに加え、海外事業も伸長したことから、前年同期比3.2%増の1,612億円となりました。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

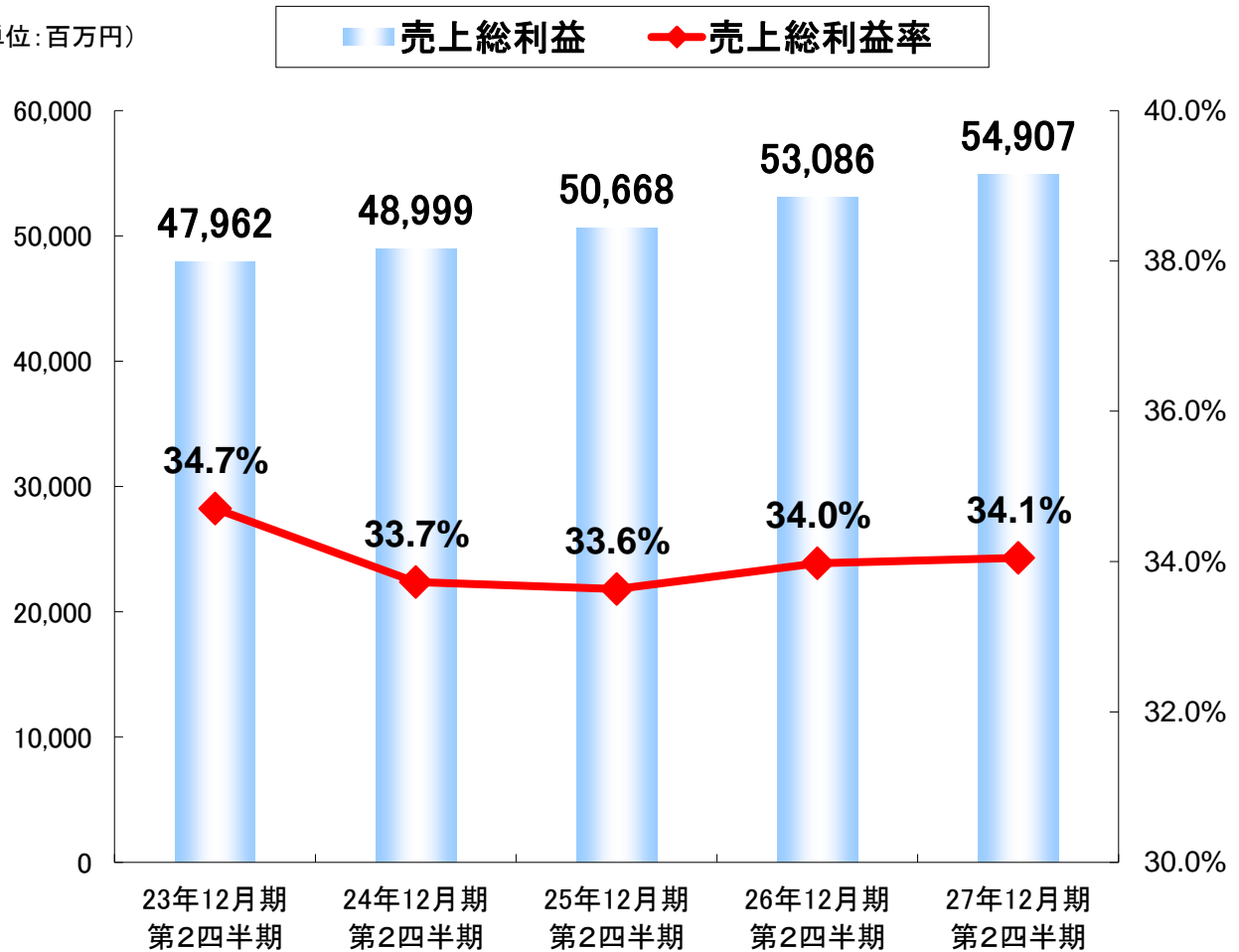
	23年12月期 第2四半期	24年12月期 第2四半期	25年12月期 第2四半期	26年12月期 第2四半期	27年12月期 第2四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	138,199	145,283	150,629	156,243	161,249	+5,006	+3.2%
売上総利益 (率)	47,962 (34.7%)	48,999 (33.7%)	50,668 (33.6%)	53,086 (34.0%)	54,907 (34.1%)	+1,821 (+0.1p)	+3.4%
販売費及び一般管理費 (率)	42,451 (30.7%)	42,246 (29.1%)	44,102 (29.3%)	45,689 (29.2%)	46,025 (28.5%)	+336 (△0.7p)	+0.7%
営業利益 (率)	5,510 (4.0%)	6,752 (4.6%)	6,565 (4.4%)	7,396 (4.7%)	8,882 (5.5%)	+1,486 (+0.8p)	+20.1%
経常利益 (率)	5,786 (4.2%)	7,235 (5.0%)	7,759 (5.2%)	7,935 (5.1%)	9,814 (6.1%)	+1,879 (+1.0p)	+23.7%
四半期純利益 (率)	2,188 (1.6%)	3,211 (2.2%)	4,477 (3.0%)	3,995 (2.6%)	6,037 (3.7%)	+2,042 (+1.2p)	+51.1%

1. 損益計算書の状況

◆1-3 売上総利益

売上総利益は、増収により前年同期比3.4%増の549億円となり、売上総利益率は34.1%となりました。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

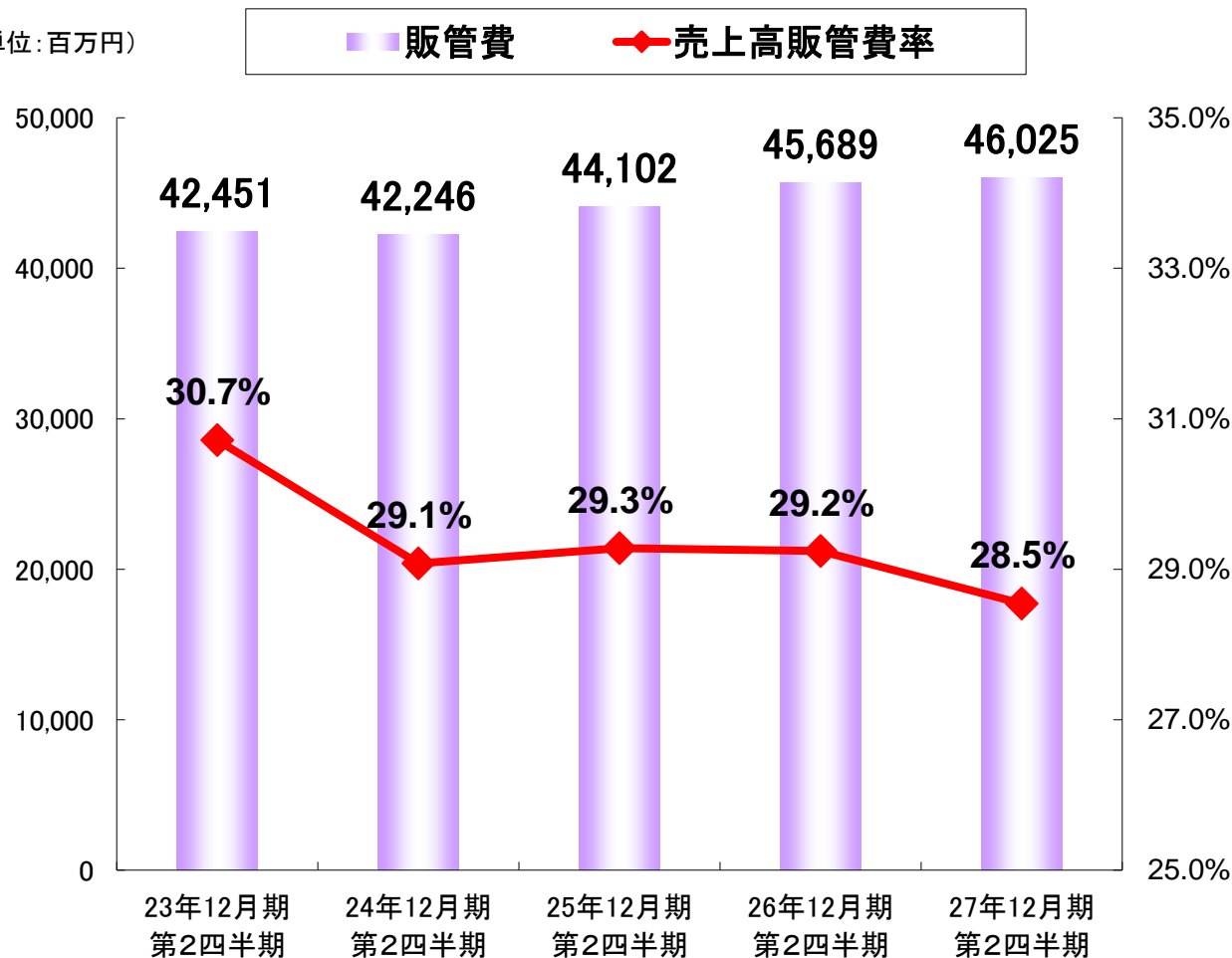
	23年12月期 第2四半期	24年12月期 第2四半期	25年12月期 第2四半期	26年12月期 第2四半期	27年12月期 第2四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	138,199	145,283	150,629	156,243	161,249	+5,006	+3.2%
売上総利益 (率)	47,962 (34.7%)	48,999 (33.7%)	50,668 (33.6%)	53,086 (34.0%)	54,907 (34.1%)	+1,821 (+0.1p)	+3.4%
販売費及び一般管理費 (率)	42,451 (30.7%)	42,246 (29.1%)	44,102 (29.3%)	45,689 (29.2%)	46,025 (28.5%)	+336 (△0.7p)	+0.7%
営業利益 (率)	5,510 (4.0%)	6,752 (4.6%)	6,565 (4.4%)	7,396 (4.7%)	8,882 (5.5%)	+1,486 (+0.8p)	+20.1%
経常利益 (率)	5,786 (4.2%)	7,235 (5.0%)	7,759 (5.2%)	7,935 (5.1%)	9,814 (6.1%)	+1,879 (+1.0p)	+23.7%
四半期純利益 (率)	2,188 (1.6%)	3,211 (2.2%)	4,477 (3.0%)	3,995 (2.6%)	6,037 (3.7%)	+2,042 (+1.2p)	+51.1%

1. 損益計算書の状況

◆1-4 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費は、物流費は増加しましたが、固定費の削減に努めたことから、前年同期比0.7%増の460億円となり、売上高販管費率は28.5%と0.7ポイント低下しました。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	23年12月期 第2四半期	24年12月期 第2四半期	25年12月期 第2四半期	26年12月期 第2四半期	27年12月期 第2四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	138,199	145,283	150,629	156,243	161,249	+5,006	+3.2%
売上総利益 (率)	47,962 (34.7%)	48,999 (33.7%)	50,668 (33.6%)	53,086 (34.0%)	54,907 (34.1%)	+1,821 (+0.1p)	+3.4%
販売費及び一般管理費 (率)	42,451 (30.7%)	42,246 (29.1%)	44,102 (29.3%)	45,689 (29.2%)	46,025 (28.5%)	+336 (△0.7p)	+0.7%
営業利益 (率)	5,510 (4.0%)	6,752 (4.6%)	6,565 (4.4%)	7,396 (4.7%)	8,882 (5.5%)	+1,486 (+0.8p)	+20.1%
経常利益 (率)	5,786 (4.2%)	7,235 (5.0%)	7,759 (5.2%)	7,935 (5.1%)	9,814 (6.1%)	+1,879 (+1.0p)	+23.7%
四半期純利益 (率)	2,188 (1.6%)	3,211 (2.2%)	4,477 (3.0%)	3,995 (2.6%)	6,037 (3.7%)	+2,042 (+1.2p)	+51.1%

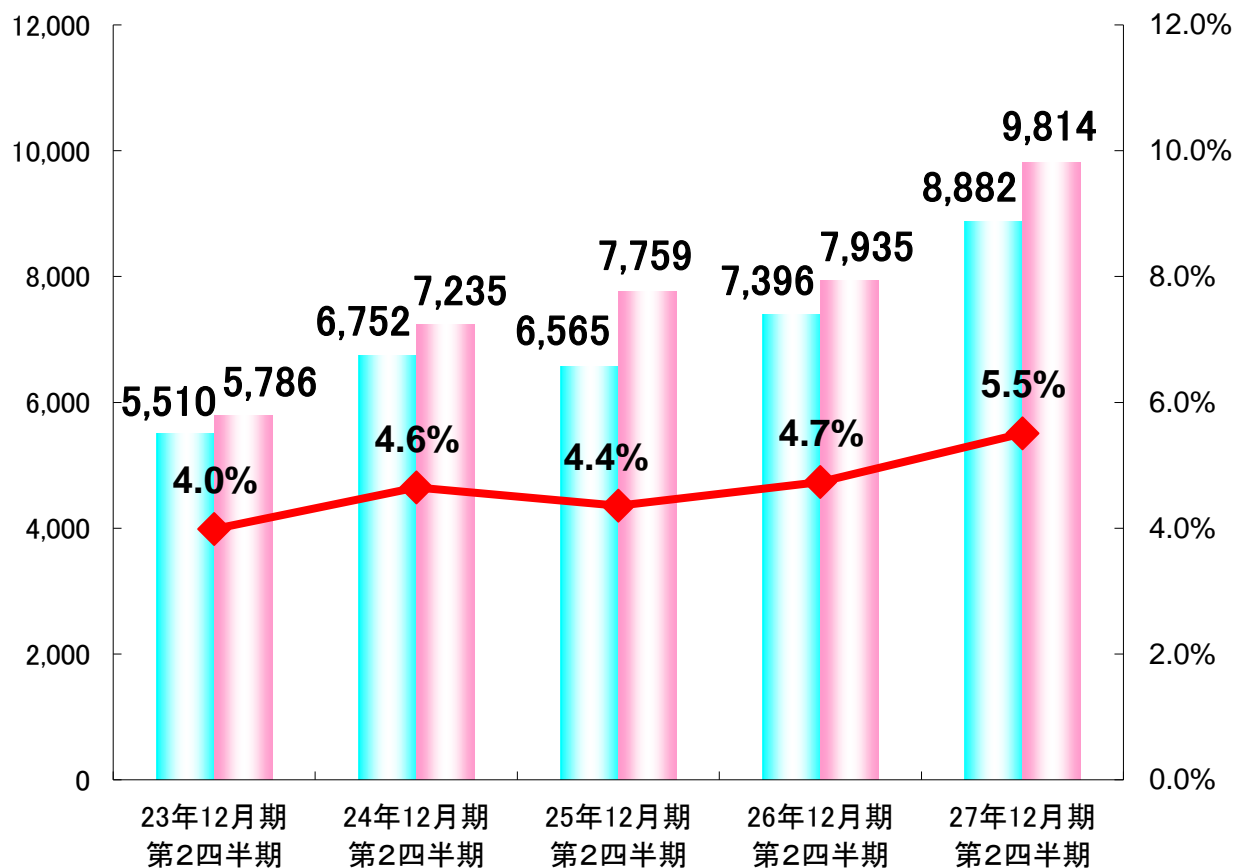
1. 損益計算書の状況

◆1-5 営業利益及び経常利益

営業利益は、増収に伴う売上総利益の増加や固定費の削減等により、前年同期比20.1%増の88億円となりました。

経常利益は、前年同期比23.7%増の98億円となりました。

(単位:百万円)



(単位:百万円)

	23年12月期 第2四半期	24年12月期 第2四半期	25年12月期 第2四半期	26年12月期 第2四半期	27年12月期 第2四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	138,199	145,283	150,629	156,243	161,249	+5,006	+3.2%
売上総利益 (率)	47,962 (34.7%)	48,999 (33.7%)	50,668 (33.6%)	53,086 (34.0%)	54,907 (34.1%)	+1,821 (+0.1p)	+3.4%
販売費及び一般管理費 (率)	42,451 (30.7%)	42,246 (29.1%)	44,102 (29.3%)	45,689 (29.2%)	46,025 (28.5%)	+336 (△0.7p)	+0.7%
営業利益 (率)	5,510 (4.0%)	6,752 (4.6%)	6,565 (4.4%)	7,396 (4.7%)	8,882 (5.5%)	+1,486 (+0.8p)	+20.1%
経常利益 (率)	5,786 (4.2%)	7,235 (5.0%)	7,759 (5.2%)	7,935 (5.1%)	9,814 (6.1%)	+1,879 (+1.0p)	+23.7%
四半期純利益 (率)	2,188 (1.6%)	3,211 (2.2%)	4,477 (3.0%)	3,995 (2.6%)	6,037 (3.7%)	+2,042 (+1.2p)	+51.1%

1. 損益計算書の状況

◆1-6 四半期純利益

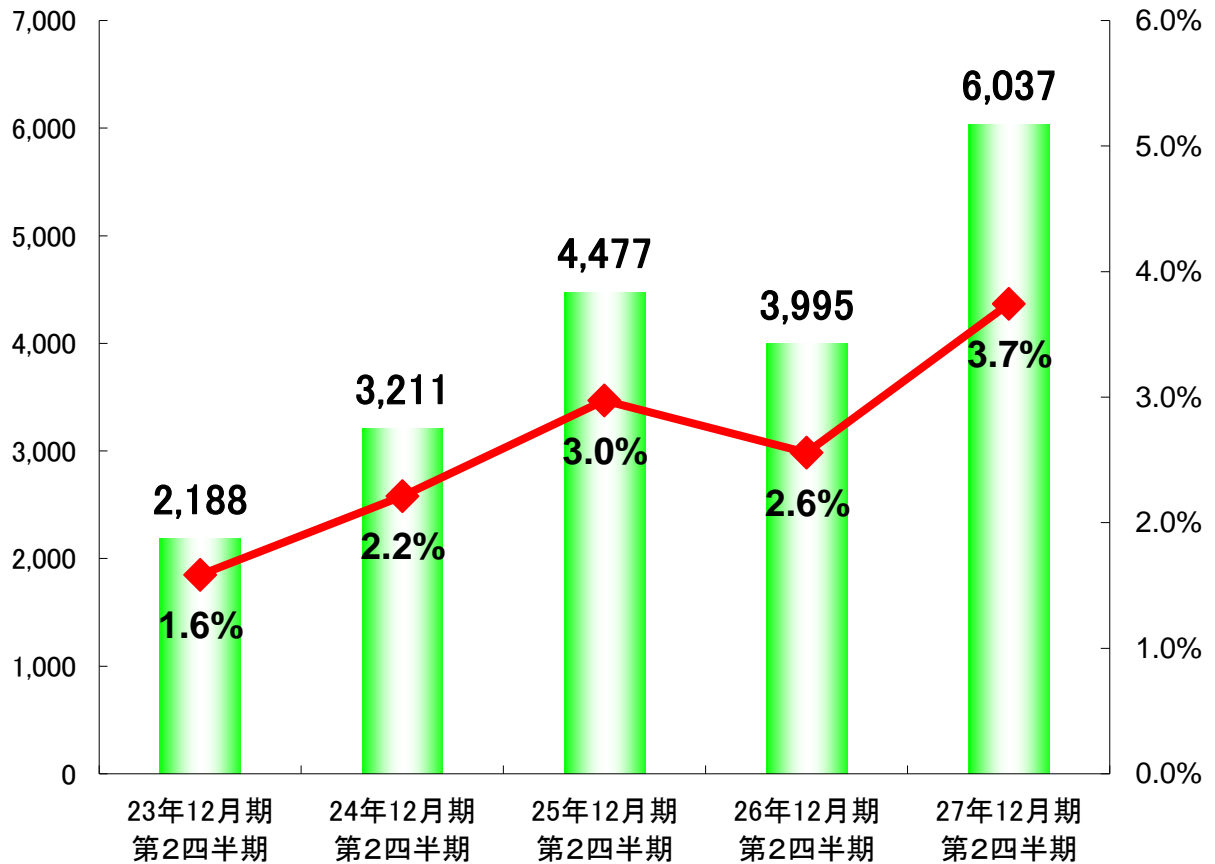
四半期純利益は、前年同期比51.1%増の60億円となりました。

○特別利益・・・関係会社株式売却益 1,215百万円、投資有価証券売却益 235百万円

○特別損失・・・製品自主回収関連損失引当金繰入額 1,240百万円、減損損失 69百万円

(単位:百万円)

■ 四半期純利益 ◆ 売上高四半期純利益率



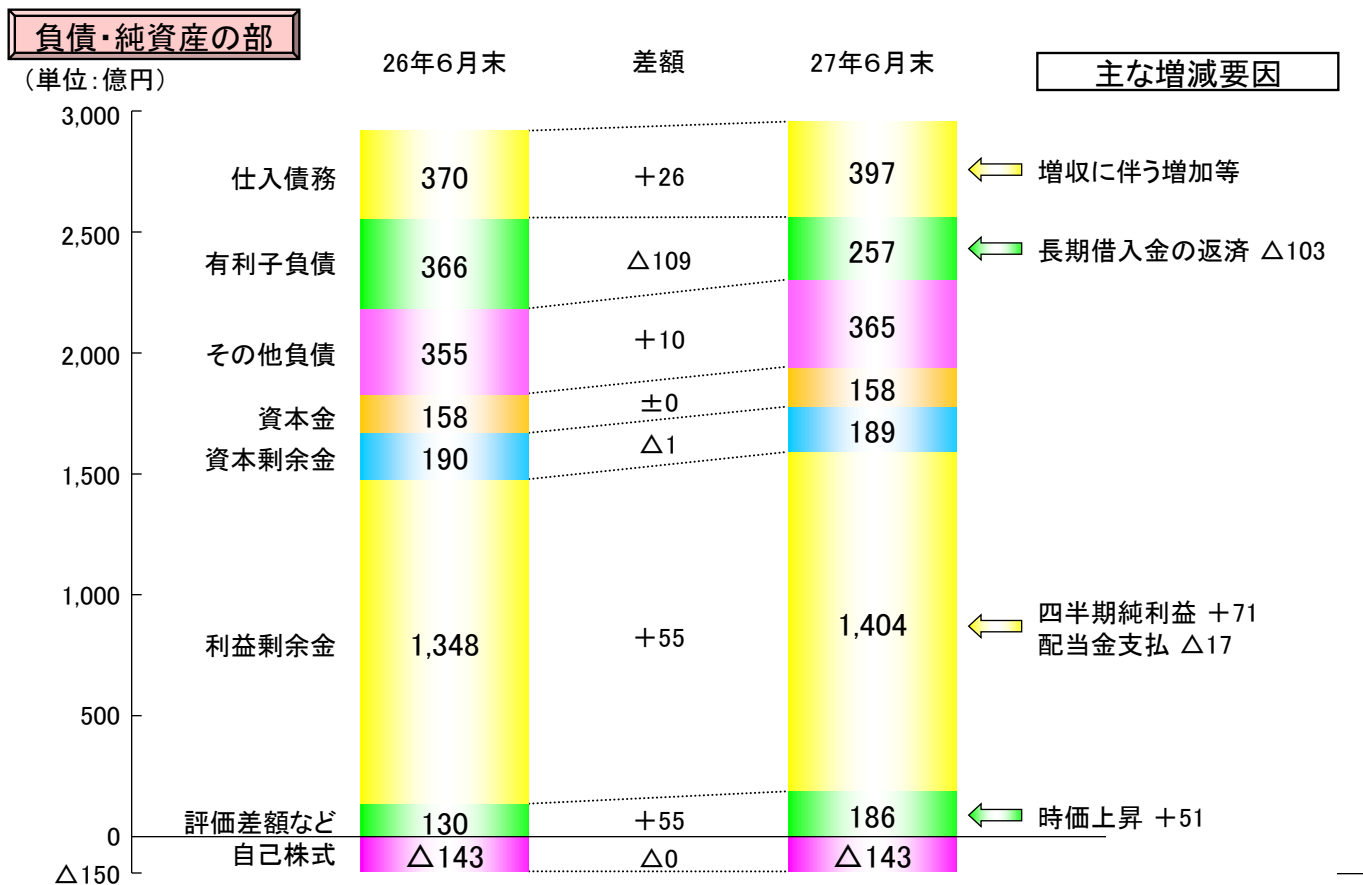
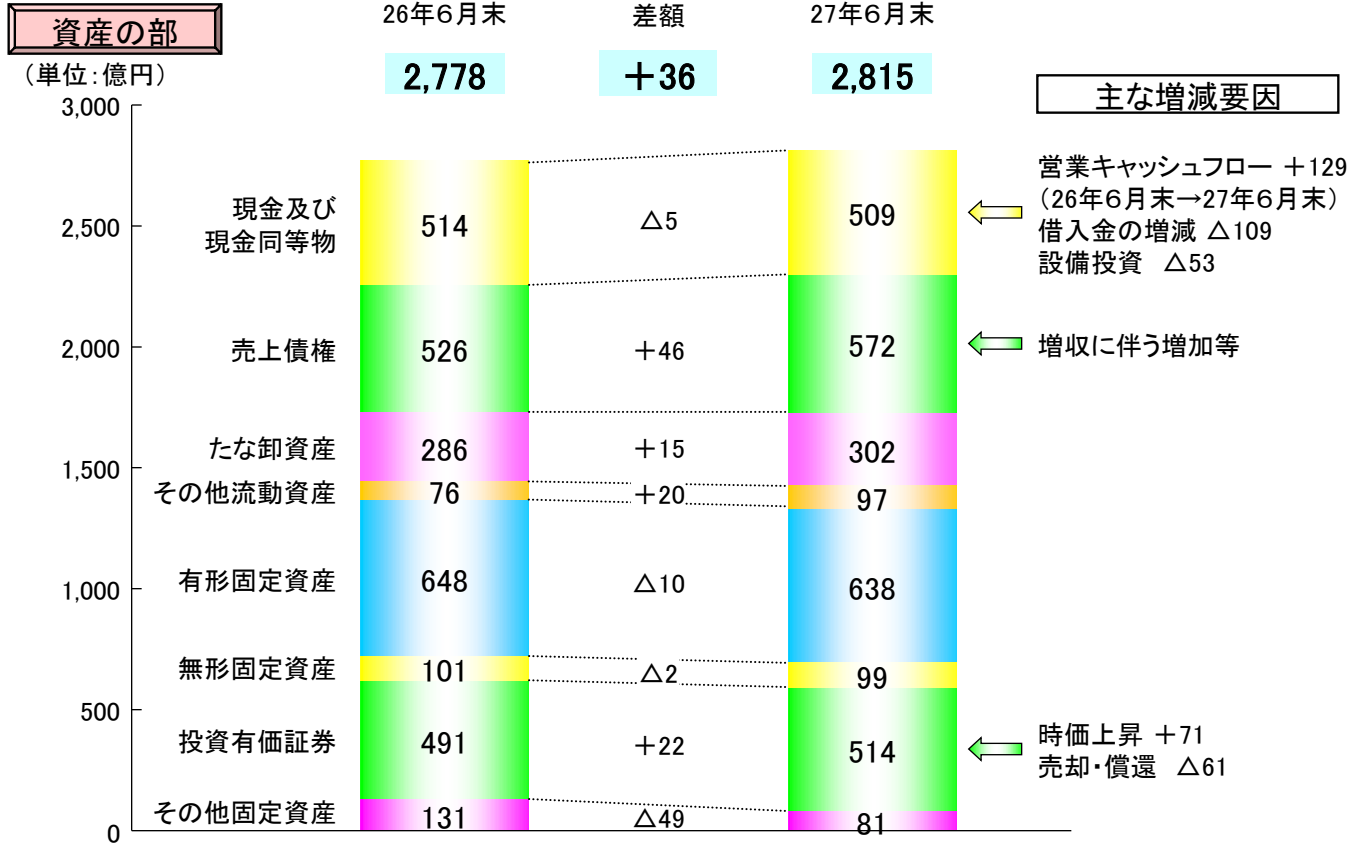
(単位:百万円)

	23年12月期 第2四半期	24年12月期 第2四半期	25年12月期 第2四半期	26年12月期 第2四半期	27年12月期 第2四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
経常利益 (率)	5,786 (4.2%)	7,235 (5.0%)	7,759 (5.2%)	7,935 (5.1%)	9,814 (6.1%)	+1,879 (+1.0p)	+23.7%
特別損益	△1,186	△802	△473	△384	+140	+524	—
特別利益	+341	+274	+403	+56	+1,450	+1,394	+2489.3%
特別損失	△1,527	△1,076	△876	△441	△1,309	△868	—
税金等調整前四半期純利益 (率)	4,601 (3.3%)	6,432 (4.4%)	7,286 (4.8%)	7,550 (4.8%)	9,954 (6.2%)	+2,404 (+1.3p)	+31.8%
法人税等	2,413	3,221	2,809	3,554	3,917	+363	+10.2%
四半期純利益 (率)	2,188 (1.6%)	3,211 (2.2%)	4,477 (3.0%)	3,995 (2.6%)	6,037 (3.7%)	+2,042 (+1.2p)	+51.1%

2. 貸借対照表の状況

有利子負債の削減を推進しました。一方、営業キャッシュフローの増加や投資有価証券の時価上昇等があり、総資産は2,815億円となりました。

※比較のため前期の数値は26年12月期第2四半期(26年6月末)を使用しており、決算短信記載の数値と異なります。
 ※億円未満を切り捨てて表記しています。そのため合計が一致しない場合があります。



3. キャッシュフロー・設備投資の状況

<キャッシュフロー>

営業キャッシュフローは89億円、投資キャッシュフローは△1百万円となり、フリーキャッシュフロー(※)は89億円となりました。
また、財務キャッシュフローは△18億円となりました。

以上の結果、当期末の現金及び現金同等物は、期首から70億円増加し、509億円となりました。

(※)フリーキャッシュフロー＝営業キャッシュフロー＋投資キャッシュフロー

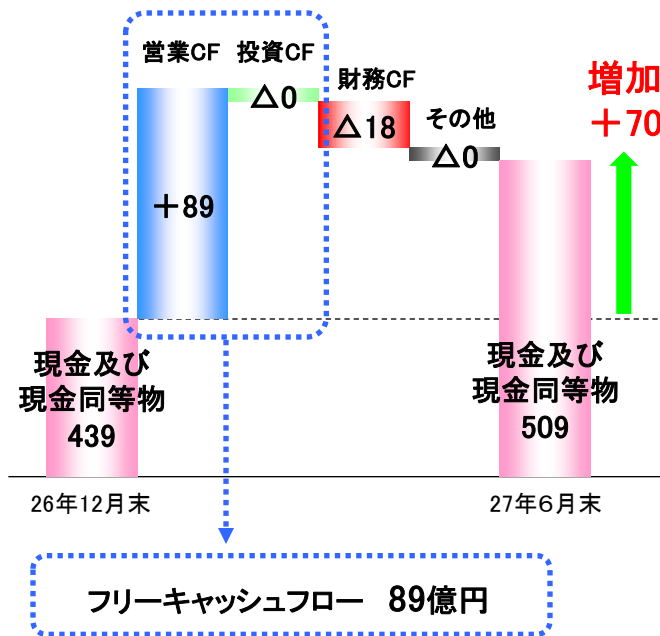
<設備投資>

設備投資は、24億円を実施しました。

※億円未満を切り捨てて表記しています。そのため合計が一致しない場合があります。

□ 現金及び現金同等物の増減内訳 27年12月期 第2四半期

(単位:億円)



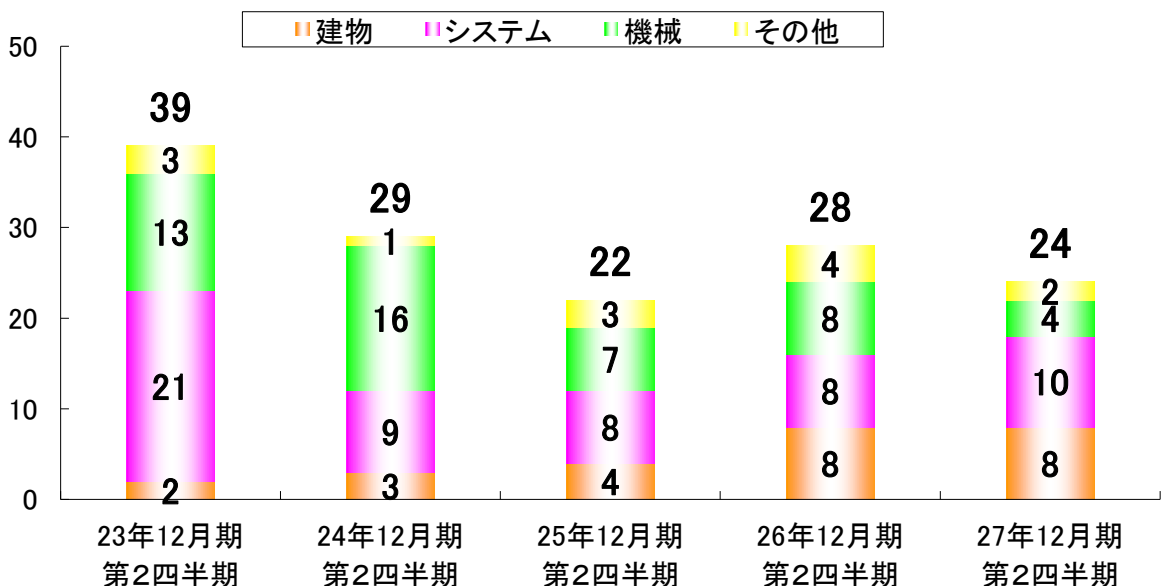
□ キャッシュ・フロー計算書 27年12月期 第2四半期

(単位:億円)

◆営業キャッシュフロー	+89
税金等調整前四半期純利益	+99
減価償却費	+35
賞与引当金の増減	+32
たな卸資産の増減	+9
債権債務の増減	△71
法人税等の支払	△5
その他	△10
◆投資キャッシュフロー	△0
関係会社株式売却収入	+16
投資有価証券の取得、売却	+4
設備投資	△24
その他	+3
◆財務キャッシュフロー	△18
配当金の支払	△8
リース債務の返済	△5
その他	△3

□ 設備投資の推移

(単位:億円)



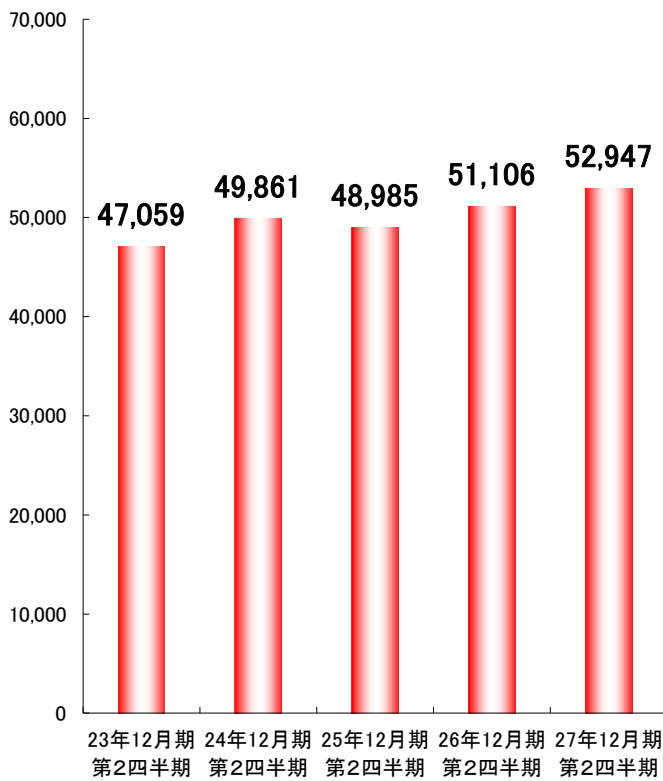
4. 事業セグメントの損益状況

◆4-1 ステーションナリー関連事業

売上高は、海外事業の伸長により、前年同期比3.6%増の529億円となりました。
 営業利益は、海外事業は改善したものの、国内事業が円安の進行による原材料価格や仕入商品価格の高騰の影響を受けたこと等により、前年同期比3.9%減の35億円となりました。

売上高

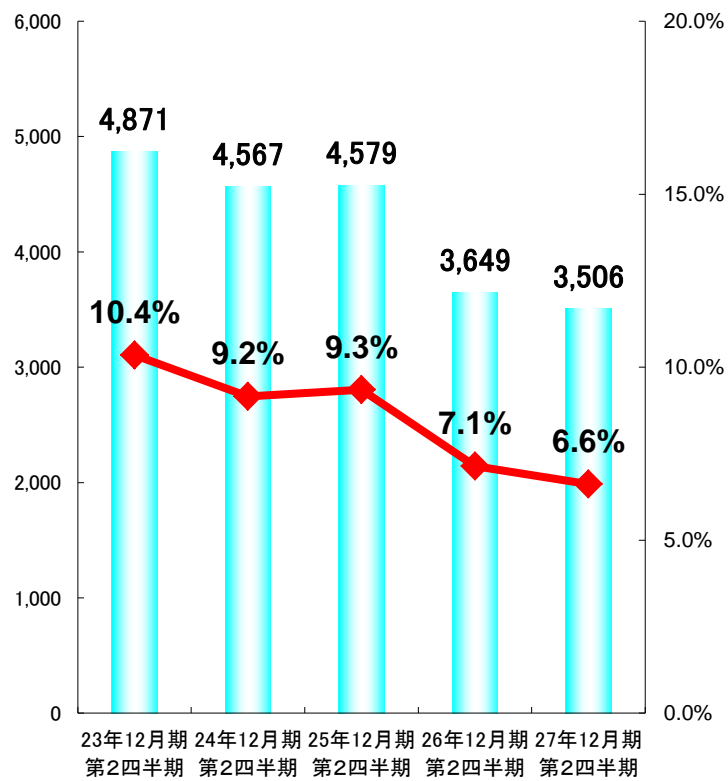
(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)

◆ 売上高営業利益率



(単位:百万円)

	23年12月期 第2四半期	24年12月期 第2四半期	25年12月期 第2四半期	26年12月期 第2四半期	27年12月期 第2四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	47,059	49,861	48,985	51,106	52,947	+1,841	+3.6%
営業利益 (率)	4,871 (10.4%)	4,567 (9.2%)	4,579 (9.3%)	3,649 (7.1%)	3,506 (6.6%)	△143 (△0.5p)	△3.9%

※24年12月期より「ステーションナリー関連事業」「ファニチャー関連事業」「通販・小売関連事業」の3セグメントにて開示しております。そのため、23年12月期の実績値は新セグメントに置き換えております。

※売上高は、外部売上高と内部売上高を合算した数値を記載しております。

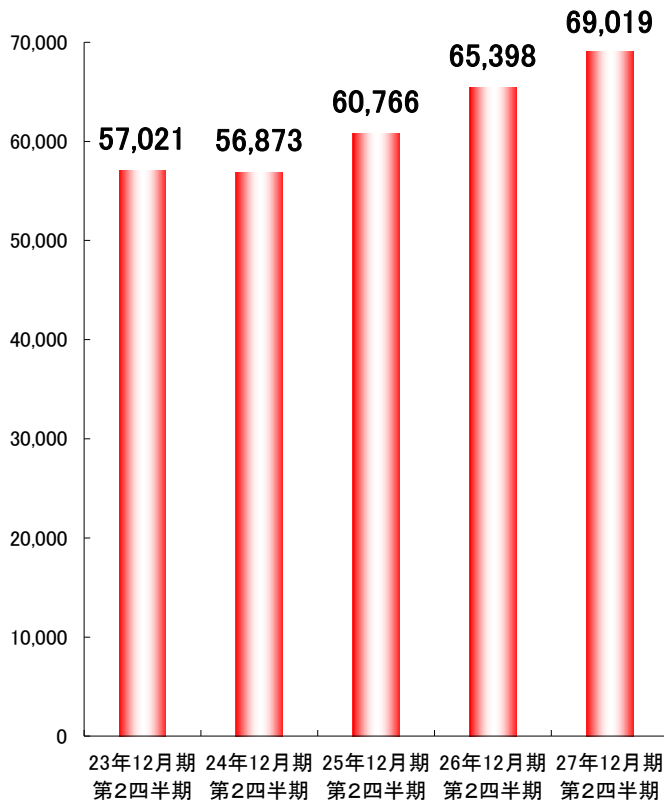
4. 事業セグメントの損益状況

◆4-2 ファニチャー関連事業

売上高は、国内事業の牽引により、前年同期比5.5%増の690億円となりました。
営業利益は、増収による売上総利益の増加に加え、売上総利益率の改善により、前年同期比38.9%増の52億円となりました。

売上高

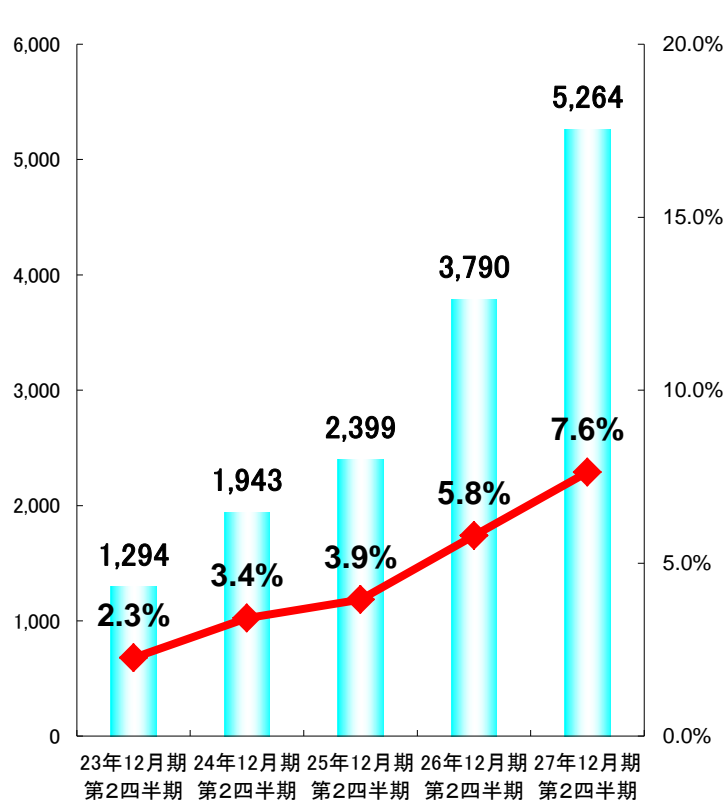
(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)

◆売上高営業利益率



(単位:百万円)

	23年12月期 第2四半期	24年12月期 第2四半期	25年12月期 第2四半期	26年12月期 第2四半期	27年12月期 第2四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	57,021	56,873	60,766	65,398	69,019	+3,621	+5.5%
営業利益 (率)	1,294 (2.3%)	1,943 (3.4%)	2,399 (3.9%)	3,790 (5.8%)	5,264 (7.6%)	+1,474 (+1.8p)	+38.9%

※24年12月期より「ステーションリー関連事業」「ファニチャー関連事業」「通販・小売関連事業」の3セグメントにて開示しております。そのため、23年12月期の実績値は新セグメントに置き換えております。

※売上高は、外部売上高と内部売上高を合算した数値を記載しております。

4. 事業セグメントの損益状況

◆4-3 通販・小売関連事業

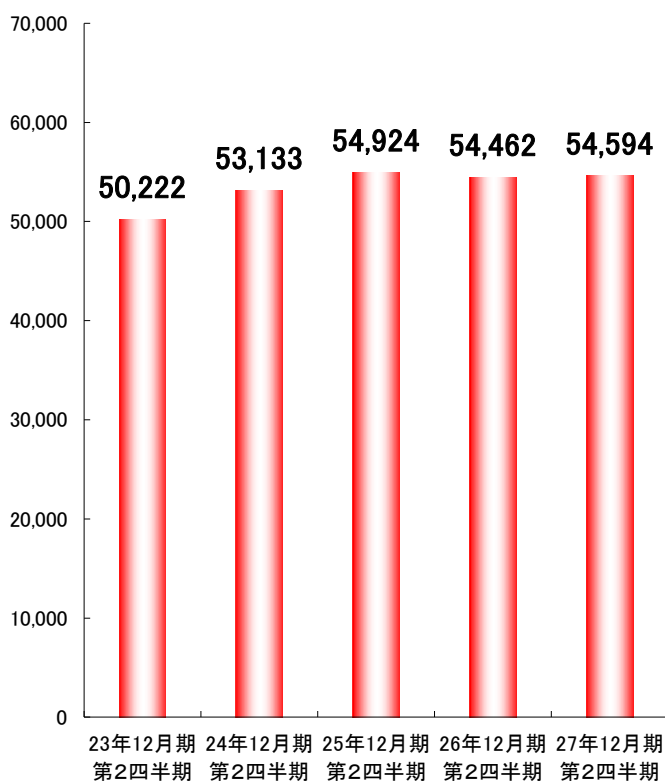
売上高は、カウネットは増収となったものの、LmD株式会社の連結除外(※)により、前年並みの545億円となりました。

営業利益は、通販事業における物流費の上昇やアクタスの新規出店に伴う先行費用の増加等がありましたが、カウネットの増収に伴う売上総利益の増加により、前年並みの13億円となりました。

(※)平成26年9月1日に当社の連結子会社であった「ザ・コンランショップ」の運営会社であるLmD株式会社の全保有株式を譲渡いたしました。

売上高

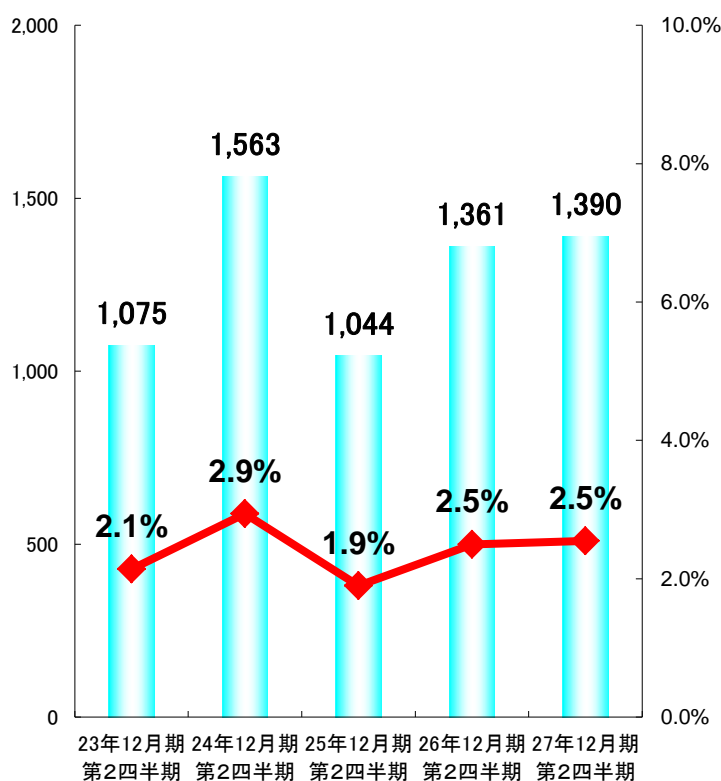
(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)

◆売上高営業利益率



(単位:百万円)

	23年12月期 第2四半期	24年12月期 第2四半期	25年12月期 第2四半期	26年12月期 第2四半期	27年12月期 第2四半期	前年差額 (前年率差)	増減率
売上高	50,222	53,133	54,924	54,462	54,594	+132	+0.2%
営業利益 (率)	1,075 (2.1%)	1,563 (2.9%)	1,044 (1.9%)	1,361 (2.5%)	1,390 (2.5%)	+29 (+0.0p)	+2.2%

※24年12月期より「ステーションリー関連事業」「ファニチャー関連事業」「通販・小売関連事業」の3セグメントにて開示しております。そのため、23年12月期の実績値は新セグメントに置き換えております。

※売上高は、外部売上高と内部売上高を合算した数値を記載しております。

5. 27年12月期の見通し

当下半期の当社を取り巻く環境は、円安の進行による原材料価格及び仕入商品価格の高騰や物流費の増加等、不透明な状況ではありますが、第2四半期連結累計期間における業績が当初予想を上回ったことに伴い、売上高3,020億円、営業利益93億円、経常利益108億円、当期純利益61億円に修正しました。

通 期

(単位:百万円)

	26年12月期 通期実績 (12ヶ月)	27年12月期 通期予想 (12ヶ月)	前年差額	前年率差	増減率	(ご参考) 27年12月期 当初予想
売 上 高	293,054	302,000	+8,946		+3.1%	300,000
ステーションリー	93,646	96,500	+2,854		+3.0%	98,000
ファニチャー	120,695	124,000	+3,305		+2.7%	123,000
通販・小売	107,138	108,300	+1,162		+1.1%	108,000
調整額	△ 28,426	△ 26,800	+1,626		-	△ 29,000
営 業 利 益 (率)	7,598 (2.6%)	9,300 (3.1%)	+1,702	+0.5p	+22.4%	8,350
ステーションリー(率)	4,450 (4.8%)	4,100 (4.2%)	△350	△0.5p	△7.9%	4,200
ファニチャー(率)	4,155 (3.4%)	5,900 (4.8%)	+1,745	+1.3p	+42.0%	5,400
通販・小売(率)	2,073 (1.9%)	2,000 (1.8%)	△73	△0.1p	△3.5%	2,300
調整額	△ 3,080	△ 2,700	+380		-	△ 3,550
経 常 利 益 (率)	9,643 (3.3%)	10,800 (3.6%)	+1,157	+0.3p	+12.0%	9,350
当 期 純 利 益 (率)	5,065 (1.7%)	6,100 (2.0%)	+1,035	+0.3p	+20.4%	5,350

※この資料に記述されている予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

6. 主なトピックス

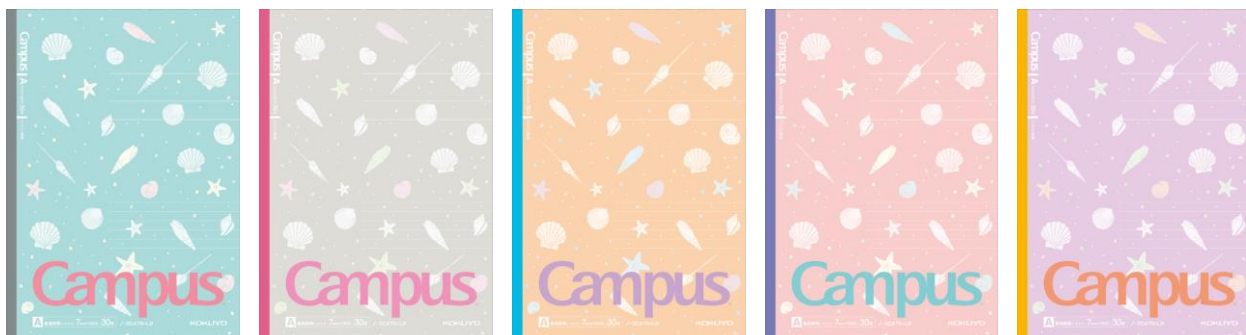
～夏を先取りした限定柄～

シェルモチーフ柄のキャンパスノートを発売

コクヨS&T株式会社は、表紙にシェルモチーフ柄を採用した「限定柄キャンパスノート〈マーメイドシェル〉(5色パック)」を数量限定で発売しました。

「限定柄キャンパスノート〈マーメイドシェル〉(5色パック)」は、夏をイメージし、シェルモチーフを散りばめた爽やかな柄で、ソフトなカラーと繊細なイラストが特長です。

罫内容は、人気のドット入り罫線で、本商品では、罫線内のドットに星形のドットが隠れているノートがまれに出現します。ノートの発売と同時に、この希少な星形ドットを見つけられたら参加できる「伝説のラッキードットキャンペーン」も実施しています。



「限定柄キャンパスノート〈マーメイドシェル〉(5色パック)」

～2枚のICカードを一緒に携帯～

「吊り下げ名札セット(カードプロテクトタイプ・2つ折り)〈アイドプラス〉」を発売

コクヨS&T株式会社は、重ねて使うと読み取りエラーを起こしやすい非接触型ICカードを2枚一緒に携帯できる「吊り下げ名札セット(カードプロテクトタイプ・2つ折り)〈アイドプラス〉」を発売しました。

近年、利便性とセキュリティ意識の高まりにより、ICカードの普及が広がっています。カードをかざすだけで情報が読み取れる非接触型ICカードは、定期入れや名札用ケースから取り出さずに使用でき、公共交通機関系ICカードやテナントビル入館カードなど公的な利用から、ロッカーの施錠管理やパソコンのログイン、コピー機の利用など企業内での利用に至るまで一人で複数枚所持・使用するシーンが増えています。

今回発売する吊り下げ名札セットは、収容部分が2箇所あり、普段は折りたたんで1枚分の名札用ケースの大きさですが、読み取り機にかざす際に広げることで読み取りエラーを起こしにくくしています。また、2つ折りのため、個人名や会社名が記載されたカード面を内側に納めることができ、プライバシーを守りやすくなっています。



「吊り下げ名札セット」使用イメージ

6. 主なトピックス

～フレームがもたらす姿勢サポートと空間親和～ オフィスチェア「Bezel(ベゼル)」を発売

コクヨファニチャー株式会社は、姿勢をサポートし、空間の美しさを高めるオフィスチェア「Bezel(ベゼル)」を発売しました。

「Bezel」は、ワーカーを取り巻くIT環境の変化に伴う着座時の姿勢の変化に着目して開発されたチェアです。

座面は、骨盤を支える面形状を設けたベース層にクッション層を乗せた独自の「ポスチャーサポートシート」と、前傾姿勢に最適な座面角度に調節できる「オープンポジションメカニズム」を採用しました。

背もたれ部は、6本の樹脂製の帯で構成され、柔軟に背中に追従する独自の「ウェーブモーションサポート」によって、姿勢の変化に追従しながら柔軟にサポートします。

また、多様な姿勢に合わせて調整しやすく、肘の動きのサポート範囲が広い可動肘「クランクスライドアーム」も用意しています。



「Bezel」

～募集テーマは「美しい暮らし」～ 「コクヨデザインアワード2015」を開催

コクヨ株式会社は、使う人の視点で優れたデザインを、広く一般ユーザーから集めて商品化をめざすコンペティション「コクヨデザインアワード2015」を開催し、本年5月15日から7月31日まで作品を募集しています。

「コクヨデザインアワード」は、平成14年に創設以来、今回で13回目(平成22年は休止)となり、これまでに受賞作品の中から、「消しゴム<カドケシ>」や「キャンパスノート<パラクルノ>」、「スリーウェイ蛍光マーカー<ビートルティップ>」等の製品が誕生しています。

昨年の応募件数は合計1,442点、応募者の国籍は日本を含めて29カ国におよび、プロダクトデザインの国際コンペティションとして認知されています。

今回の募集テーマは、『美しい暮らし』で、募集対象は、文房具と家具です。

一次審査、最終審査を経て、11月中に結果を発表する予定です。

詳細については、コクヨのホームページ(<http://www.kokuyo.co.jp/award/>)にて、順次公開しています。

